



# INIT コマンド

この章では、Cisco ONS 15454 SDH の INIT（初期化）コマンドについて説明します。

## 15.1 INIT-REG-<MOD2>

Initialize Register（レジスタの初期設定）（10GFC、10GIGE、1GFC、1GFICON、2GFC、2GFICON、CLNT、DVIDEO、DS3I、DV6000、E1、E3、E4、ESCON、ETRCLO、FSTE、G1000、GFPOS、GIGE、HDTV、ISC1、STM4、STM64、STM1、STM16、OCH、OMS、OTS、POS、STM1E、VC3、VC44C、VC38C、VC464C、VC48C、VC4、VC416C、VC42C、VC43C、VC12）

プラットフォーム別にサポートされる修飾子については、[表 27-1 \(p.27-1\)](#) を参照してください。

### 使用上のガイドライン

パフォーマンス モニタリング（PM）レジスタを初期化します。



(注)

- 期間は、常に現在の期間で、前の期間でのカウントはクリアされません。したがって、このコマンドでは、<MONDAT> と <MONTM> の両方はサポートされません。
- すべてのカードで、(受信) RCV 方向だけがサポートされます。BTH は、このコマンドではサポートされていません。
- INIT-REG-<MOD2> は、(Remote Monitoring) RMON 管理対象の未加工データを初期化するためにも使用されます。

### カテゴリ

パフォーマンス

### セキュリティ

プロビジョニング

### 入力形式

```
INIT-REG-<MOD2>:[<TID>]:<AID>:<CTAG>::<MONTYPE>,,[<ISTM>],[<DIRN>],[<TMPER>]  
[.,];
```

### 入力例

```
INIT-REG-STM1:CISCO:FAC-1-1:1234::CVL,,NEND,RCV,15-MIN;
```

## 入力パラメータ

表 15-1 INIT-REG-&lt;MOD2&gt; 入力パラメータ

パラメータおよび値	内容
AID	アクセス ID (「25.1 ALL」 [p.25-2] を参照)。VC12 および ファシリティ AID のすべてがサポートされています。
MONTYPE	監視対象のタイプ パラメータ タイプ は、ALL_MONTYPE (監視対象タイプのリスト) です。
• AISSP	Alarm Indication Signal (AIS; アラーム表示信号) の秒数 - パス
• ALL	使用可能なすべての値
• BBEP	SDH バックグラウンドブロック エラー パス
• BBE-PM	OTN- バックグラウンドブロック エラー - パス監視ポイント
• BBER	SDH バックグラウンドブロック エラー率
• BBER-PM	OTN - バックグラウンドブロック エラー率 - パス監視ポイント (パーミル値)
• BBER-SM	OTN - バックグラウンドブロック エラー率 - セクション監視ポイント (パーミル値)
• BBE-SM	OTN- バックグラウンドブロック エラー- セクション監視ポイント
• BIEC	FEC - ビット エラー修正済み
• CGV	8B10B - コード グループ違反
• CVCPP	コーディング違反 - CP ビット パス
• CVL	コーディング違反 - 回線
• CVP	コーディング違反 - パス
• CVS	コーディング違反 - セクション
• CVV	コーディング違反 - セクション
• DCG	8B10B - データ コード グループ
• ESCPP	エラー秒数 - CP- ビット パス
• ESL	エラー秒数 - 回線
• ESP	エラー秒数 - パス
• ES-PM	OTN- エラー秒数 - パス監視ポイント
• ESR	エラー秒数 - 率
• ESR-PM	エラー秒数率 - パス監視ポイント (パーミル値)
• ESR-SM	エラー秒数率 - セクション監視ポイント (パーミル値)
• ESS	エラー秒数 - セクション
• ES-SM	OTN- エラー秒数 - セクション監視ポイント
• ESV	エラー秒数 - VC パス
• etherStatsBroadcastPkts	受信したマルチキャスト アドレス宛ての良好パケット数の合計
• etherStatsCollisions	衝突する伝送パケット数
• etherStatsCRCAlignErrors	長さが 64 ~ 1518 オクテット (フレーム構成ビットを除く、ただしフレーム チェック シーケンス [FCS] オクテットは含む) の受信パケット数の合計
• etherStatsDropEvents	ポート レベルで廃棄された受信フレーム数
• etherStatsFragments	受信した 64 オクテット未満のパケット数の合計
• etherStatsJabbers	受信した 1518 オクテット超のパケット数の合計

表 15-1 INIT-REG-&lt;MOD2&gt; 入力パラメータ (続き)

パラメータおよび値	内容
• etherStatsOctets	データのオクテット数の合計
• etherStatsOversizePkts	受信した 1518 オクテット超の packets 数の合計
• etherStatsPkts	受信した packets 数の合計 (不良 packet、ブロードキャスト packet、マルチキャスト packet を含む)
• etherStatsUndersizePkts	受信した 64 オクテット未満の packets 数の合計
• FCP	障害カウント - 回線
• FC-PM	OTN - 障害カウント - パス監視ポイント
• FC-SM	OTN - 障害カウント - セクション監視ポイント
• HP-AR	アベイラビリティ率
• HP-BBE	高次パスのバックグラウンドブロック エラー
• HP-BBER	高次パスのバックグラウンドブロック エラー率
• HP-EB	高次パスのエラー ブロック
• HP-ES	高次パスのエラー秒数
• HP-ESA	高次パスのエラー秒 - A
• HP-ESB	高次パスのエラー秒 - B
• HP-ESR	高次パスのエラー秒数率
• HP-FC	高次パスの障害カウント
• HP-NPJC-PDET	高次パスの負のポインタ位置調整カウント
• HP-NPJC-PGEN	高次パスのポインタ位置調整カウント秒数
• HP-OI	停止強度
• HP-PJCDIFF	高次パスのポインタ位置調整カウントの差異
• HP-PJCS-PDET	高次パスのポインタ位置調整カウント
• HP-PPJC-PDET	高次パスの正のポインタ位置調整カウント
• HP-PPJC-PGEN	高次パス、正のポインタ位置調整カウント
• HP-SEPI	使用可能時間内の SEP イベント数
• HP-SES	高次パスの重大エラー秒数
• HP-SESR	高次パスの重大エラー秒数率
• HP-UAS	高次パスの使用不可秒数
• ifInBroadcastPkts	前回のカウンタ リセット以降、受信したブロードキャスト packet 数
• ifInDiscards	着信 packet 数
• ifInErrorBytePktss	受信エラー バイト
• ifInErrors	エラーを含む着信 packet (または伝送ユニット) 数
• ifInFramingErrorPkts	受信フレーム構成エラー
• ifInJunkInterPkts	受信インター packet ジャンク
• ifInMulticastPkts	前回のカウンタ リセット以降、受信したマルチキャスト packet 数
• ifInOctets	前回のカウンタ リセット以降、伝送されたバイト数
• ifInUcastPkts	前回のカウンタ リセット以降、受信したユニキャスト packet 数
• ifOutBroadcastPkts	伝送されたブロードキャスト packet 数
• ifOutDiscards	送信 packet 数

表 15-1 INIT-REG-&lt;MOD2&gt; 入力パラメータ (続き)

パラメータおよび値	内容
• ifOutErrors	エラーのため伝送できなかった送信パケット (または伝送ユニット) 数
• ifOutMulticastPkts	伝送されたマルチキャスト パケット数
• ifOutPayloadCrcErrors	受信ペイロード CRC エラー
• ifOutUcastPkts	伝送されたユニキャスト パケット数
• IOS	8B10B - アイドル順序セット
• IPC	無効なパケット カウント
• LBCL-AVG	平均レーザー バイアス電流 (uA)
• LBCL-MAX	最大レーザー バイアス電流 (uA)
• LBCL-MIN	最小レーザー バイアス電流 (uA)
• LBCN	SMT1-8 の正規化レーザー バイアス電流
• LBCN-HWT	レーザー バイアス電流
• LBCN-LWT	レーザー バイアス電流
• LOSSL	Loss of Signal (LOS; 信号損失) の秒数 - 回線
• LP-BBE	低次パスのバックグラウンドブロック エラー
• LP-BBER	低次パスのバックグラウンドブロック エラー率
• LP-EB	低次パスのエラー ブロック
• LP-ES	低次パスのエラー秒
• LP-ESA	低次パスのエラー秒 - A
• LP-ESB	低次パスのエラー秒 - B
• LP-ESR	低次パスのエラー秒数率
• LP-FC	低次パスの障害カウント
• LP-NPJC-DET	低次の負のポインタ位置調整カウント、検出
• LP-NPJC-GEN	低次の負のポインタ位置調整カウント、生成
• LP-PPJC-DET	低次の正のポインタ位置調整カウント、検出
• LP-PPJC-GEN	低次の正のポインタ位置調整カウント、生成
• LP-SEP	3 ~ 9 の連続する重大エラー秒数 (SES)
• LP-SEPI	低次パスの重大エラー期間
• LP-SES	低次パスの重大エラー秒数
• LP-UAS	低次パスの使用不可秒数
• MS-PSC	多重化セクション保護スイッチ カウント
• MS-PSD	多重化セクション保護スイッチ時間
• NIOS	8B10B - 非アイドル順序セット
• NPJC-PDET	負のポインタ位置調整カウント、パス検出
• NPJC-PGEN	負のポインタ位置調整カウント、パス生成
• OPR-AVG	平均受信パワー (1/10 uW)
• OPR-MAX	最大受信パワー (1/10 uW)
• OPR-MIN	最小受信パワー (1/10 uW)
• OPRN	STM1-8 の正規化光受信パワー
• OPRN-MAX	OPRN の最大値
• OPRN-MIN	OPRN の最小値

表 15-1 INIT-REG-&lt;MOD2&gt; 入力パラメータ (続き)

パラメータおよび値	内容
• OPT-AVG	平均伝送パワー (1/10 uW)
• OPT-MAX	最大伝送パワー (1/10 uW)
• OPT-MIN	最小伝送パワー (1/10 uW)
• OPTN	STM1-8 カードの光送信パワーの正規化された値
• OPTN-MAX	OPTN の最大値
• OPTN-MIN	OPTN の最小値
• OPWR-AVG	光パワー - 平均間隔値 (1/10 dBm)
• OPWR-MAX	光パワー - 最大間隔値 (1/10 dBm)
• OPWR-MIN	光パワー - 最小間隔値 (1/10 dBm)
• PPJC-PDET	正のポインタ位置調整カウント、パス検出
• PPJC-PGEN	正のポインタ位置調整カウント、パス生成
• PSC	保護スイッチング カウント
• PSC-R	保護スイッチング カウント - リング
• PSC-S	保護スイッチング カウント - スパン
• PSC-W	保護スイッチング カウント - 現用
• PSD	保護スイッチング時間
• PSD-R	保護スイッチング時間 - リング
• PSD-S	保護スイッチング時間 - スパン
• PSD-W	保護スイッチング時間 - 現用
• SASCPP	重大エラー フレーム構成 /AIS 秒数 - CP ビット パス
• SASP	重大エラー フレーム構成 /AIS 秒数パス
• SEFS	重大エラー フレーム構成秒数
• SESCOPP	重大エラー秒数 -CP ビット パス
• SESL	重大エラー秒数 - 回線
• SESP	重大エラー秒数 - パス
• SES-PM	OTN - 重大エラー秒数 - パス
• SESR	重大エラー秒数 - 率
• SESR-PM	OTN - 重大エラー秒数率 - パス監視ポイント (パーミル値)
• SESR-SM	OTN - 重大エラー秒数率 - セクション監視ポイント (パーミル値)
• SESS	重大エラー秒数 - セクション
• SES-SM	OTN- 重大エラー秒数 - セクション監視ポイント
• SESV	重大エラー秒数 -VC パス
• UASCPP	不可秒数 -CP ビット パス
• UASL	不可秒数 - 回線
• UASP	不可秒数 - パス
• UAS-PM	OTN- 不可秒数 - パス監視ポイント
• UAS-SM	OTN- 不可秒数 - セクション監視ポイント
• UASV	不可秒数 -VC パス
• UNC-WORDS	FEC - 修正不可ワード
• VPC	有効パケット カウント

表 15-1 INIT-REG-&lt;MOD2&gt; 入力パラメータ (続き)

パラメータおよび値	内容
<b>ISTM</b>	AID によって識別されるエンティティに関連して特定のコマンドに関連付けられた場所  パラメータ タイプは、LOCATION (アクションが発生する場所) です。
• FEND	アクションは、ファシリティの遠端で発生します。
• NEND	アクションは、ファシリティの近端で発生します。
<b>DIRN</b>	AID により識別されるエンティティに関連する方向。デフォルトは ALL です。PM の方向にかかわらず、すべてのレジスタを初期化します。  パラメータ タイプは DIRECTION (送受信の方向) です。
• RCV	受信方向のみ
<b>TMPER</b>	パフォーマンス カウンタの累積期間。値がヌルの場合には、デフォルトは 15 分です。  パラメータ タイプは、TMPER (パフォーマンス マネジメント センターの累積期間) です。
• 1-DAY	パフォーマンス パラメータ累積間隔: 24 時間単位。SDH PM データの場合、1 日分の履歴データだけが使用可能です。RMON 管理対象 PM データは、7 日間の履歴データが使用可能です。
• 1-HR	パフォーマンス パラメータ累積間隔: 1 時間単位。RMON 管理対象 PM データにだけ適用されます。24 時間の履歴データが使用可能です。
• 1-MIN	パフォーマンス パラメータ累積間隔: 1 分単位。RMON 管理対象 PM データにだけ適用されます。60 分間の履歴データが使用可能です。
• 15-MIN	パフォーマンス パラメータ累積間隔: 15 分単位。この累積間隔では、32 個の 15 分バケットの履歴データが使用可能です。
• RAW-DATA	パフォーマンス パラメータ累積間隔: カウンタが最後にクリアされたときから開始されます。RMON 管理 PM だけに適用されます。

## 15.2 INIT-SYS

Initialize System (システムの初期設定)

**使用上のガイドライン** 指定されたカードとその関連するサブシステムを初期化します。



(注)

- SLOT-ALL AID およびリスト AID は、このコマンドでは使用できません。
- このコマンドでは、1つのレベルの再始動だけがサポートされています。
- このコマンドをアクティブな TCC2/TCC2P 上で送信する前に、スタンバイ TCC2/TCC2P も稼働して完全なスタンバイ状態にしておくことが重要です。この期間中に、タイミング中断または他の原因でトラフィックが停止すると、システムの動作が不定になります。
- カードをハードリセットする前は、次のいずれかの状態である必要があります：  
LOCKED-ENABLED、MAINTENANCE; LOCKED-ENABLED、DISABLED;  
LOCKED-DISABLED、MAINTENANCE; LOCKED-DISABLED、DISABLED。

**カテゴリ** システム

**セキュリティ** メンテナンス

**入力形式** INIT-SYS:[<TID>]:<AID>:<CTAG>::<PH>[,<CMDMDE=CMDMODE>];

**入力例** INIT-SYS:HOTWATER:SLOT-8:201::1,CMDMDE=FRCD;

**入力パラメータ** 表 15-2 INIT-SYS 入力パラメータ

パラメータおよび値	内容
AID	アクセス ID (「25.1.11 EQPT」 [p.25-16] を参照)
PH	フェーズ。1 = ソフトリセット、2 = ハードリセット。タイプは integer です。
CMDMDE	<p>コマンドモード。ユーザは安全チェックを無効にできます。CMDMDE は、ONS15454 SDH ではサポートされていません。デフォルトは、NORM です。</p> <p>パラメータタイプは CMDMDE (持続状態に関係なく、指定されたコマンドを強制的に実行する) です。すべてのコマンドは、デフォルトで NORM モードで動作します。ただし、FRCD を指定して、通常はコマンドが拒否されるような状態を、強制的に無効にすることもできます。</p>
• FRCD	通常はコマンドが拒否されるような状態を、強制的に無効にします。
• NORM	コマンドを通常どおりに実行します。コマンドが失敗する可能性のある状態を無効にはしません。

